

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 7 日

評価対象事業	都調	-	15	庁舎管理事務				☐ 法定受託事務
所管課	都市調整部 管財課				評価者	管財課長 田邊 幹浩		
一般	会計	款	10	項	5	目	20	
総合計画上の位置付け	分野名	行財政運営			施策の方針名		行財政運営	

1 事業の目的

対象	市庁舎	意図	市庁舎の維持保全を図るため。
効果	設備関係の改修を重点的に行い、市庁舎の機能改善を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	庁舎管理 庁舎維持修繕 電話交換業務 外部賃貸業務 コールセンター運営	庁舎管理 庁舎維持修繕 電話交換業務 外部賃貸業務 コールセンター運営	庁舎管理 庁舎維持修繕 電話交換業務 外部賃貸業務 コールセンター運営
予算額（千円）	282,777	291,437	
国県支出金			
地方債			
その他	29,220	47,787	
一般財源	253,557	243,650	0
当初人員配置数	3.5	3.9	
人件費（千円）	27,017	31,485	0
事業実績	庁舎管理 庁舎維持修繕 電話交換業務 外部賃貸業務 コールセンター運営		
決算額（千円）	276,434		
国県支出金			
地方債			
その他	29,001		
一般財源	247,433	0	0
人員配置実績数	3.5		
人件費（千円）	26,230	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	年間で計画した点検・修繕の実施率	%	100	100	100		
活1	実績につながる活動					-		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	庁舎維持のため、委託等法定等点検で指摘された庁舎の要措置項目の対応を行うことにより、本庁舎の次期計画までの間の維持管理を実施し、現状を維持することができている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	今後の今の本庁舎の取扱が不透明な中、法定等点検で指摘された要措置項目の対応を行い、必要最小限の対応で庁舎の現状を維持していくということが活動でもあり成果でもある。 これに対する成果指標は、特に該当するものが無いため、比較分析することができない。

5 評価結果

評価	妥 当 性	事業に対するニーズ	☒ 増えている ☐ 変わらない ☐ 減少している			
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市 ☐ 国・県 ☐ 民間事業者 ☐ なし			
	有 効 性	事業の成果	☐ 十分に出ている ☒ 概ね出ている ☐ 出していない			
		事業費削減余地	☐ ある ☒ なし			
	効 率 性	関連・類似事業との統合	☐ できる ☒ できない			
		公 平 性	受益者負担	☐ 導入済 ☐ 導入予定 ☒ 導入できない		
		評価実施年度の方向性 ⇒		評価実施翌年度以降の方向性		
方向性	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済 ⇒ ☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合				
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済 ⇒ ☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する				

今後の取組方針 (見直し方針)	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし	庁舎移転までの現本庁舎の設備改修や修繕については、効率的な予算執行が求められることから、事業内容や予算規模は現状維持とする。	
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	庁舎移転までの現本庁舎の設備改修や修繕については、効率的な予算執行が求められることから、事業内容や予算規模は現状維持とする。			上位施策への寄与度 C

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本市の庁舎は老朽化しており、本事業の内容は本市特有のものが多く、その性質上、他市と比較することが適切ではない。
----------------------	---